

ココロがある。

ミニディスクロージャー誌

お客さまとともに

平成25年3月期

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



ココロがある。コタエがある。  
西日本シティ銀行

# 経営理念

## 理念

西日本シティ銀行は、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する“九州No.1”バンクを目指します。

### お客さまに一番近い

お客さまに一番近い銀行として、誠実に対応し、圧倒的に支持される銀行を目指します。

### 地域に貢献する

健全経営を基本に、地域に貢献し、積極的に社会的責任を果たすことで、広く信頼される銀行を目指します。

### 期待に応える人づくり

あたたかな心とチャレンジ精神を持ち、自由闊達で積極果敢に行動する人づくりに努めます。

## 行動憲章

### 心がある

私たちは、いつもお客さまの身になって、丁寧に対応し、真摯にご相談に取り組みます。

### 情熱がある

私たちは、いつもお客さまの声に、熱く行動し、チャレンジし、スピーディーにお応えします。

### 夢がある

私たちは、いつもお客さまの期待をこえた、新しく、価値のある提案をお届けします。



## ココロがある。Contents

トップメッセージ	1
中期経営計画「New Stage 2011～元気よく～」	2
企業まるごとサポート	4
人生まるごとサポート	6
CSR～地域との共栄～	12

# 地域経済の発展のために一層の飛躍を図る

取締役頭取 久保田 勇夫



このような金融経済環境のなか、当行の最重要課題の一つであった基幹系システムの「地銀共同センター」(株式会社NITデータが運営する国内最大規模の共同利用型センター)への移行を本年1月に無事終了しました。システムの移行にあたりましては、お客さまをはじめとする多くの方々の格別のご理解とご協力を賜りましたことに、厚くお礼を申し上げます。

## 総合金融サービスのご提案

個人のお客さまとのお取引につきましては、九州旅客鉄道株式会社との提携により、「キャッシュカード」、「クレジットカード」、「ICカード乗車券」などの機能が一体となった多機能カード「ALL IN ONE JQ SUGOCA」の発行を開始しました。また、お客さまのライフプランに応じて、土日も専門スタッフが最適な商品をご提案する「NCBほけんプラザ」を新たに4箇所開設したことなどにより、土日でも相談いただける窓口を38拠点に拡大しました。

法人・個人事業者のお客さまのお取引につきましては、創業・新規事業にチャレンジしようとする中小企業の支援として、当行を含む九州の地元銀行4行と独立行政法人中小企業基盤整備機構で設立する「九州アントレプレナークラブ投資事業有限責任組合」への出資を行いました。また、お客さまの海外

ビジネスを、きめ細かにサポートするため、当行グループ会社である株式会社NCBリサーチ&コンサルティングにアジア諸国の事情に精通したスタッフを配置した「国際コンサル室」を新設するとともに、アジアビジネス支援の総合ウェブサイトを「アジアへの扉」を同社のホームページ上に開設しました。その他にも、医療経営、農林漁業の成長産業化、通信販売ビジネスなどに関するセミナーの開催、大手スーパーとの商談会の開催など、様々な角度からお客さまの事業サポートに努めてまいりました。

## 地域経済の発展のために

中期経営計画「New Stage 2011」(元氣よく)の最終年度である今年度は、さらなる飛躍に向けて、時代の変化に対応した総合金融サービス業への進化へと徹底した生産性の向上に取り組んでまいります。

また、本年3月末をもって中小企業金融円滑化法が失効しましたが、当行は、同法の失効前と変わることなく地元のお客さまに対する安定的な資金供給に努めるとともに、お客さまの様々なニーズに応じたコンサルティング機能を発揮してまいります。

今後も、「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識の下、全役職員一丸となって、地域経済の発展のために邁進してまいります。

## 地銀共同センターへ 基幹系システムの移行を完了

この1年のわが国経済を振り返りますと、東日本大震災の復興関連需要や各種政策効果などにより、夏場にかけて緩やかな回復の動きが見られましたが、年度半ばより、欧州の財政問題を主因とする世界経済の減速などにより、回復の動きに足踏みが見られる状況となりました。その後、昨年12月の政権交代を機に持ち直しの動きが見られますが、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

一方、当行の地元、九州の経済につきましては、主力である自動車産業が堅調に推移し、全体的に持ち直しの動きが見られるようになりました。

西日本シティ銀行が目指す銀行像

国内トップレベルの

サービスを地元で提供し、

お客さまとともに栄える

九州No.1バンク

「国内トップレベルのサービス」

これまで、国際業務やソリューションといった専門的な分野で、地銀初、九州地銀初の先進的な取組みを行ってきました。今後もこうした取組みを継続し、また、全職員がそれぞれの持ち場で高いレベルを追求して、他の地銀との差別化を図ります。

「地元で提供」

地域の繁栄と当行の繁栄は不可分であるとの認識のもと、地元で、地元の立場に立ってサービスを提供し、メガバンク・外資系金融機関との差別化を図ります。

この2つの差別化戦略により、地域との一体的な成長を通じて「お客さまとともに栄える九州No.1バンク」を実現します。

目指す銀行像の実現に向け、  
中期経営計画「New Stage 2011 ～元気よく～」が  
平成23年4月からスタート。着実な実行を進めています。

## 中期経営計画の概要

計画期間:2011年4月～2014年3月

### 目指す銀行像

国内トップレベルのサービスを地元で提供し、お客さまとともに栄える九州No.1バンク

### 中期経営計画「New Stage 2011 ～元気よく～」

“時代の変化に対応した総合金融サービス業への進化”と“徹底した生産性向上”

西日本シティ銀行

地元のお客さま

#### 進むべき方向性

「お客さま第一主義」

サービスの専門性向上

サービスの利便性向上

「収益力の強化」

顧客基盤の拡大

グループ総合力の強化

サービス向上と  
経営合理化の両立

「地域貢献」

地元のお取引先の育成

元気で環境豊かな  
地域社会づくり

#### 主要施策

#### 6つの改革

##### 経営改革

意識・行動改革

サービス改革

オペレーション改革

人事改革

コスト構造改革

##### 機能強化戦略

- システムの共同化移行
- リスク管理の高度化

##### グループ戦略

- グループ会社のサービス向上・経営合理化

##### 地域との共栄

- 地場産業育成
- 環境配慮
- 知的貢献
- 歴史・文化活動

#### 注力する分野

##### コーポレート

- 事業性融資
- ソリューション
- 成長分野 / 国際分野
- 環境分野 / 観光分野

##### リテール

- 個人ローン
- 住宅ローン
- 消費者ローン
- 預り資産

将来の収益基盤づくり

顧客基盤拡大

有価証券運用

計画のコンセプトは、「時代の変化に対応した『総合金融サービス業』への進化」と「徹底した生産性向上」の2つです。

### 時代の変化に対応した“総合金融サービス業”への進化

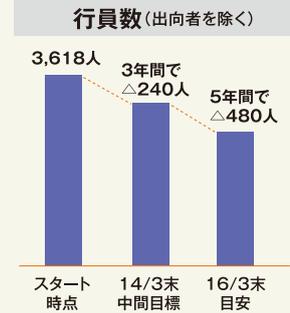
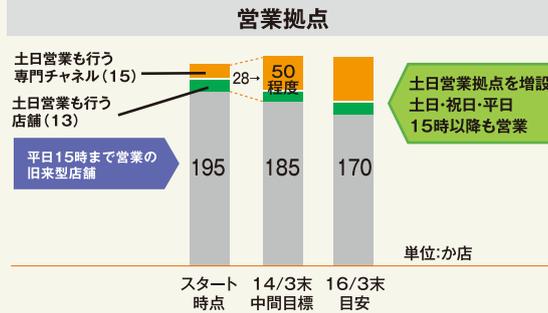
～お客さまのライフステージから生じる様々なニーズに対し、お客さま目線に立った最適なサービスを提供～



### 徹底した生産性向上

～サービス向上と経営合理化の両立により生産性を改善し、強靱な経営基盤を構築～

土日営業拠点を増設しお客さまの利便性を高める一方で、旧来型店舗の統廃合を進め、生産性を向上させます。また、人員の効率化を進め、コスト削減を断行します。



「地域の活性化なくして地銀の将来なし」との認識に立ち、金融面以外からも地域の発展に貢献します。

- 歴史・文化活動**
  - 地元根づく歴史・文化活動は地方銀行のインフラの一部と位置づけ、当行の特長である歴史・文化活動への取り組みを継続し、豊かな地域社会の実現に貢献します。
- 知的貢献**
  - 当行及び各界トップによる質の高い講演会や金融知識の普及活動など、地域社会と次世代を担う青少年等への知的貢献を継続します。
- 環境配慮**
  - 環境負荷軽減に取り組む企業を支援するとともに、当行自身も環境にやさしい業務運営を実践し、環境に配慮した取り組みにおいて地銀トップレベルを目指します。
- 環境配慮**
  - 積極的な産官学連携を継続し、「学」の優れた技術ノウハウを地場産業発展に取り込みます。
- 地場産業育成**
  - 高齢化の進展により地元企業が直面する事業承継やM&A等に積極的に関与します。
  - 高年齢の進展により地元企業が直面する事業承継やM&A等に積極的に関与します。
  - 地元企業の成長分野への新規参入を側面から支援します。

## 地元企業の発展のために

### 6次産業化への支援

”地域への貢献”地場産業育成の二環として、平成25年2月に「農林漁業成長産業化セミナー」を開催いたしました。

本セミナーでは九州における農林漁業の今後の展望、農業の成長産業化に向けた国内先進事例および農林漁業成長産業化ファンドの概要についての解説を行い、セミナー後に開催したレセプションでは、業種を越えた参加者の交流機会を提供いたしました。

セミナーは250名、レセプションは146名といずれも定員を上回る参加をいただき、農林漁業の成長産業化に対する皆さまの関心の高さが感じられました。

また平成25年4月には、6次産業化に取組む農林漁業者の方を支援する目的で、九州6次化応援ファンド（総額20億円）を設立し、出資いたしました。

当行では地域の活性化につながる6次産業化に対し、今後もさまざまな支援を実施してまいります。

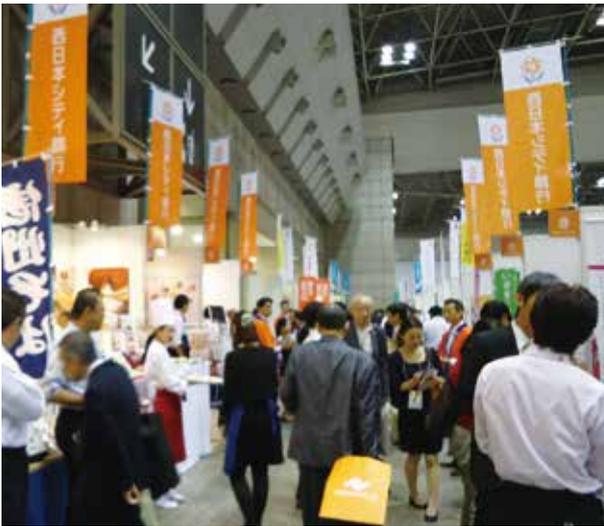


### 販路拡大の支援

平成24年10月に東京ビッグサイトにおいて「地方銀行フードセレクトション2012」が開催され、当行のお取引先8社が出展されました。同商談会には流通業を中心とした1万人を超えるバイヤーが来場され、多くの商談が行われました。

平成25年1月には「ネットショップセミナー」、同年3月に「通信販売ビジネスセミナー」を開催いたしました。ネットショップ・通信販売は販売チャネル拡大策のひとつとして大きな注目を集めており、いずれのセミナーも定員を超える参加をいただきました。

当行ではお客さまの販路拡大ニーズに対して、商談会の開催・誘致やセミナーでの情報発信を継続的に実施してまいります。



### 西南学院大学「実践仕事塾・金融スペシャリスト育成講座」の開催

平成24年10月から11月にかけて、”地域との共栄” 知的貢献の二環として、西南学院大学との産学連携協定に基づき、同大学の学生を対象に開講されている「実践仕事塾・金融スペシャリスト育成講座」に、当行のさまざまな分野で活躍する役職員を講師として派遣いたしました。

今回で5年目となりますが、24名の受講生に対して全5回コース、6名の講師を派遣し、実践的な金融知識に関する寺子屋形式の講義を行いました。



### 「志、情熱企業」

～中小企業応援テレビ番組～

技術力やノウハウ等を持つ特徴ある地元企業を紹介するテレビ番組を毎週土曜日にRKB毎日放送にて放映中です。当番組で紹介した企業は250社を超えました。



当行ホームページ

(<http://www.ncbank.co.jp>)からも番組内容をご覧いただけます。

九州の元気を応援しています

## 地元企業の海外ビジネスを支援しています

### 海外ビジネス／ 外貨建て取引のサービス向上策を実施

国境を越えたクロスボーダー取引や外貨建て取引に  
対するニーズの増加に対応するため、お客さまにとって  
「より垣根を低く、より分かりやすく」をコンセプト  
に、平成25年4月にさらなるサービス向上策を実施  
しました。

■外貨と円貨の交換にかかる外国為替売買幅を見  
直し、お客さまの外貨取引にかかるコスト負担を  
軽減しました。

■「世界とのビジネスの広場」として、外国為替取引  
のサポートに加えて、お客さまの海外展開をト  
タルにサポートする専門窓口・WBS(World  
Business Square)を営業店14ヶ店に設  
置しました。

■法人向けインターネットサービス「外為スーパーダ  
イレクト」に、Eメールによる通知機能や各種照会  
機能を新たに追加し、利便性をさらに向上させま  
した。

■外貨預金の取扱店舗を135ヶ店から189ヶ店に  
拡大しました。

### 外国為替売買幅の見直し

(外国送金の場合の一例)

	TT幅
1ユーロあたり……	1.5円
1豪ドルあたり……	2.0円
1英ポンドあたり……	4.0円

↓  
1円に統一

例えば…英国留学中のお子様への仕  
送りで年4万ポンド送金する場合、為替  
手数料がこれまでの16万円から4万円  
に大幅にお安くなりました。

※外国送金には別途、送金手数料等が必要になり  
ます。詳しくは店頭まで

### 日本貿易保険(NEXI)と業務提携

平成25年1月、地元企業の海外ビジネスサポートの  
一環として、政府(経済産業省)100%出資の独立行  
政法人日本貿易保険(略称NEXI)と業務協力に  
関する覚書を交わし、貿易保険業務委託契約を締結  
しました。

貿易保険は、企業が行う輸出入、海外投資あるいは  
融資といった対外取引において抱える、貸し倒れ等の  
取引リスクをカバーする保険です。

■当行経由で貿易保険を御利用いただくお客さま  
は、中小企業輸出代金保険について保険料が割引にな  
るほか、貿易保険の利用に向けたバイヤーの無料信用  
調査において優遇が受けられるメリットがあります。  
■当行は、NEXIとの業務提携を活用し、取引リス  
クを軽減するツールを紹介することで、地元企業の海  
外ビジネス拡大を積極的にサポートしてまいります。



### 「アジアへの扉」

毎週日曜日午後5時25分より  
テレビ西日本にて放映中!!



アジアへ進出する  
企業を応援しています

### 「中国セミナー」の開催

平成25年3月、前回に続き中国銀行(BANK OF  
CHINA)との共催で、中国の最新経済動向について  
の『中国セミナー』を開催しました。

■今回は、中国でビジネスを展開されている日本企業  
の皆さまを講師としてお招きし、中国の華北地区や  
内陸部を中心としたエリアにおける今後のビジネス  
チャンスや、重要性を増す中国でのリスクマネジメント  
について講演をいただきました。

■また、九州大学学  
院の平松教授をモデ  
レーターとして、講師の  
皆さまとのパネルディ  
スカッションを行い、中小  
企業の海外進出や、リス  
ク管理に役立つ多くの  
実践的な情報やヒン  
トを提供しました。



# 二日市支店・下関支店・宮崎営業部が「まるごとサポート店舗」になりました

二日市支店(平成25年3月新築建替)、下関支店(平成25年4月新築建替)、宮崎営業部(平成25年5月リニューアルオープン)は、お客さまのさまざまなニーズにワンストップでお応えする専門拠点を集約した「まるごとサポート店舗」になりました。法人や事業主のお客さま向けには事業や海外取引

の、個人のお客さま向けには保険・ローン・資産運用の窓口を設け、各分野の専門スタッフがご相談を承ります。一部の専門拠点は土日、平日15時以降も営業していますので、お気軽にご来店ください。



二日市支店



## 専門拠点の営業時間

	NCBほけんプラザ	ローン営業室・ローンプラザ	ワールドビジネススクウェア (海外取引のサポート窓口)	西日本シティTT証券
	お客さまのライフプランに合わせて、最適な保険の加入や見直しをご提案します。	マイホームや車の購入資金、お子様の教育資金などに関するローンのご相談にお応えします。	外国為替取引の相談・受付に加え、お客さまの海外ビジネスをサポートします。	当行の証券子会社の窓口を併設し、資産運用に関するさまざまなニーズにお応えします。
二日市支店	平日9:00～17:00 土日10:00～17:00	平日9:00～17:00 土日10:00～17:00	—	平日9:00～15:00
下関支店	平日9:00～17:00	平日9:00～17:00	平日9:00～17:00	—
宮崎営業部	平日9:00～17:00 土日10:00～17:00	平日9:00～17:00 土日10:00～17:00	平日9:00～15:00	平日9:00～15:00

## 天神西通りの「西日本シティ銀行大名支店ビル」に専門拠点が集結

### 4F ほけんプラザ

将来必要な資金に備える生命保険。ご結婚やご自宅購入などライフイベントに応じて見直しが必要です。専門スタッフがお客さまのお悩みや疑問に親身にお応えいたします。

TEL 0120-144-880

### 4F NCB<sup>7KZ7</sup>天神

資産運用のご相談にはお客さまのライフプランに合わせて専門のスタッフがご提案いたします。無料セミナーも実施しています。

TEL 092-771-9002

### 4F 年金相談所

年金の疑問・不安については、年金の専門家(社会保険労務士)がお客さまのご質問にわかりやすくお応えいたします。

〈予約専用ダイヤル〉  
TEL 0120-246-537

### 6F ローン営業室

マイホームやお車のご購入、お子さまの教育資金のご相談については、専門スタッフが適切なプランをご提案いたします。

TEL 092-734-9190



大名支店ビルは、西通りの西日本シティ銀行が目印、西鉄福岡天神駅より徒歩5分!

「住宅ローン」に「生命保険」、「資産運用」に「年金のお受取」まで、お金についてのさまざまな疑問やお悩みは西日本シティの西通り大名支店ビルで解決。  
土日、平日15時以降も営業していますので、お気軽にご来店ください。



「マネーアドバイザー」  
資産運用専門スタッフ  
お客さまのこれからをオーダーメイド  
お客さまが思い描く「これから」の  
ために、お客さまひとりひとりの  
ライフプランに関するさまざまな  
ニーズにお応えできるよう、お客  
さまごとにオーダーメイドのプラ  
ンをご提案します。  
当行では、各店にマネーアドバ  
イザーやエリアを担当するチーフ  
マネーアドバイザーを配置し、お  
客さまの金融資産全般に関する  
具体的運用のアドバイスやご提案  
をしています。  
また、お客さまの相続、事業承継  
等のより幅広いご相談には、高度な  
専門知識を持つプライベートバンカー  
が、各店の担当者と共にライフプラン  
に合わせたご提案を行います。

「マネーアドバイザー」

「NCBほけんプラザ」



銀行で「ほけん」の話、しませんか？  
将来の安心のために、一度はき  
ちんと考えておきたい生命保険。  
「保障額は十分？」「保険料を見  
直したい」など、さまざまな疑問  
やお悩みを抱えている方も多いの  
ではないでしょうか？  
西日本シティ銀行の保険の専門  
窓口「NCBほけんプラザ」では、  
お客さまのライフプランに応じた  
必要な保障を無料でアドバイス  
し、複数の保険会社から最適な  
商品を選んでご提案します。平  
日はもちろん、土日も営業いたし  
ております。  
平成25年3月には二日市店、久  
留米店、4月には下関店、5月  
には宮崎店をオープンしました。

【NCBほけんプラザ店舗】

天神 (NCBアルファ天神出張所内)	☎0120-144-880	宗像 (赤間支店内)	☎0120-172-178	笹丘 (田島支店内)	☎0120-116-731
春日 (春日出張所内)	☎0120-242-070	小倉南 (下曾根駅前出張所内)	☎0120-242-423	二日市 (二日市支店3F)	☎0120-212-007
久留米 (ゆめタウン久留米出張所内)	☎0120-511-886	下関 (下関支店2F)	☎0120-737-303	宮崎 (宮崎営業部内)	☎0120-242-230

【天神・宗像・笹丘・久留米 営業時間】平日/10:00~19:00 休日/10:00~17:00 ※ただし、12月31日~1月3日、5月3日~5月5日は除きます。  
【春日・小倉南・二日市・宮崎 営業時間】平日/9:00~17:00 土日/10:00~17:00 ※平日は17:00からのご予約も受け付けております。※ただし、12月31日~1月3日、5月3日~5月5日、土日以外の祝日、振替休日は除きます。  
【下関 営業時間】平日/9:00~17:00 ※平日は17:00からのご予約も受け付けております。

西日本シティTT証券



お客さまの資産運用ニーズに  
きめ細かくお応えします。  
西日本シティTT証券は、お客  
さまの多様化・高度化するニーズに  
きめ細かくお応えするため、店舗  
の拡充や金融商品・サービスの拡充  
に取り組んでおります。  
平成25年3月には西日本シティ  
TT証券二日市支店を、平成25年  
5月には初の福岡県外店舗として  
宮崎支店をオープンし、現在、西日  
本シティ銀行の営業店舗内の共同  
店舗を中心とした計9か店で営  
業いたしております。  
従来、銀行ではお取扱いき  
なかつた商品も多数揃えており  
ます。

【西日本シティTT証券店舗】

本店営業部 (西日本シティ銀行本店営業部内)	TEL092-707-0377	天神支店 (旧 東海東京証券 福岡支店)	TEL092-761-3431	北九州支店 (西日本シティ銀行北九州営業部内) [小倉サテライトブース] (西日本シティ銀行小倉支店内)	TEL093-482-1666
黒崎支店 (西日本シティ銀行黒崎支店内)	TEL093-482-1555	久留米支店 (西日本シティ銀行久留米営業部内)	TEL0942-65-7320	飯塚支店 (西日本シティ銀行飯塚支店内)	TEL0948-43-8173
新宮支店 (西日本シティ銀行新宮支店内) [古賀サテライトブース] (西日本シティ銀行古賀支店内)	TEL092-410-2115	二日市支店 (西日本シティ銀行二日市支店内)	TEL092-408-6323	宮崎支店 (西日本シティ銀行宮崎営業部内)	TEL0985-89-3192

## 土日もご相談いただけます



「ローン営業室・NCBローンプラザ」

西日本シティ銀行の「ローン営業室・NCBローンプラザ」は、ローン専門のスタッフが常駐しており、土日曜日もご相談いただける安心・便利な窓口です。ご自宅の新築・購入、返済中の住宅ローンのお借換などの住宅に関する資金は、もちろん、お車やお子さまの教育に関する資金など、ローンのことなら何でもお任せください。休日時間に気をせず、ローンについてじっくり相談できる「ローン営業室・NCBローンプラザ」は、お客さまのさまざまなライフスタイルにお応えしていきます。

「NCBいつでもプラザ」

ショッピングセンターの中にあり、土日祝日や平日15時以降もご利用いただける「NCBいつでもプラザ」。ローンはもちろん、預金や資産運用、もしもに備える保険のことなど、幅広くご相談いただけます。また、口座開設のお申込みも承ります。「ちよつと相談してみようかな…」と思ったら、お近くのショッピングセンターにある「NCBいつでもプラザ」まで、お気軽にお立ち寄りください。

### 30か所の相談窓口で、土日も皆さまのお越しをお待ちしております

#### ローン営業室 ローンをご相談いただける専門拠点です。

- |                      |                      |                          |
|----------------------|----------------------|--------------------------|
| ① ローン天神営業室(大名支店ビル6F) | ⑦ ローン福岡南営業室(大橋支店内)   | ⑬ ローン北九州西営業室(折尾支店2F)     |
| ② ローン福岡営業室(福岡支店内)    | ⑧ ローン春日営業室(春日出張所内)   | ⑭ ローン小倉南営業室(下曾根駅前出張所内)   |
| ③ ローン香椎営業室(千早支店内)    | ⑨ ローン粕屋営業室(粕屋支店2F)   | ⑮ ローン飯塚営業室(穂波支店内)        |
| ④ ローン姪浜営業室(姪浜駅前支店3F) | ⑩ ローン新宮営業室(新宮支店2F)   | ⑯ ローン久留米営業室(久留米センター出張所内) |
| ⑤ ローン西新営業室(西新中央支店内)  | ⑪ ローン二日市営業室(二日市支店3F) | ⑰ ローン宮崎営業室(宮崎営業部内)       |
| ⑥ ローン前原営業室(前原支店2F)   | ⑫ ローン北九州営業室(小倉支店内)   |                          |

【営業時間等】平日9:00～17:00 土日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日  
※ローン福岡営業室…土日・祝日は休業

#### NCBローンプラザ お客さまのご自宅近くのローン専門相談窓口です。

- |                            |                                    |
|----------------------------|------------------------------------|
| ① NCBローンプラザ・美しが丘(美しが丘出張所内) | ② NCBローンプラザ・古賀(イオンスーパーセンター古賀店出張所内) |
| ③ NCBローンプラザ・原(原支店内)        | ④ NCBローンプラザ・下関(下関支店内)              |

【営業時間等】美しが丘 平日9:00～17:00 土・日曜日10:00～17:00 古賀 平日10:00～18:00 土・日曜日10:00～17:00 原/下関 平日9:00～17:00 休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、祝日(但し祝日が土・日曜日の場合は営業)、振替休日 ※NCBローンプラザ・原/下関…土日・祝日は休業

#### NCBいつでもプラザ ショッピングセンターの中にある、土日・祝日、平日15時以降もご相談・お申し込みができる窓口です。

- |                      |                      |               |
|----------------------|----------------------|---------------|
| ① 田島支店(ダイエー笹丘店内)     | ⑤ 赤間支店(サンリブくりえいと宗像内) | ⑨ ゆめタウン遠賀出張所  |
| ② ショップパズモールマリナタウン出張所 | ⑥ ゆめタウン筑紫野出張所        | ⑩ ゆめタウン久留米出張所 |
| ③ イオン福岡東出張所          | ⑦ イオン戸畑出張所           | ⑪ ゆめタウン大牟田出張所 |
| ④ イオンスーパーセンター古賀店出張所  | ⑧ ゆめタウン行橋出張所         | ⑫ ゆめタウン大川出張所  |

【営業時間等】平日10:00～20:00 土日・祝日10:00～17:00/休業日…12/31～1/3、5/3～5/5、ショッピングセンター店休日  
※田島支店、赤間支店…平日は9:00より ゆめタウン遠賀出張所…平日は18:00まで

## 便利にご利用いただけます



来店せずにご契約OK!  
「カードローン・フリーローン」

カードローン・フリーローンのお手続きがますます便利になりました。

スマホパソコンやお電話などで、いつでも簡単にお申込ができます。また、来店せずにご契約いただけますので、大変ご好評いただいております。(注)

急な出費にもお役立ていただけるカードローン、計画的にご返済いただけるフリーローンなど、お客さまのご希望にあわせてご利用いただけます。

(注) 当行に普通預金口座をお持ちでない方、お使い道がお借換の場合など、ご来店が必要な場合がございます。

おトクがいっぱい!  
便利なダイレクトバンキングサービス  
「NCBダイレクト」

西日本シティ銀行のダイレクトバンキングサービス「NCBダイレクト」は、スマートフォンや自宅のパソコンを使って、預金残高のご確認やお振込みなどのお取引ができる便利なサービスです。

「NCBダイレクト」をご利用いただく窓口でのお取引と比べて、お振込手数料や定期預金の金利がおトクになります。しかも、入会金や年会費(基本手数料)は不要です。

お申込みは、窓口はもちろん、ホームページからお手続きできますので、ぜひ一度お試しください。

(注) ご利用には事前のお申込みが必要です。個人のお客さまでも事業性のお取引についてのご利用はできません。パソコン、電話、スマートフォンでご利用いただけるサービス内容が異なります。詳しくは、当行ホームページをご参照ください。



さまざまな機能が一枚になった便利なカード  
「オールインワンカード」  
「オールインワンJQスゴカ」

「キャッシュカード・クレジットカード・カードローン」の3つの機能が1つになった「オールインワンカード」。

オールインワンカードであれば、当行ATMおよび提携コンビニATM(注1)の時間外手数料が1年間無料、2年目以降もNCBポイントサービスのステータジに応じてATM時間外手数料が無料になります。(注2)

さらに「オールインワンJQスゴカ」にお申込いただきますと、電子マネーやICカード乗車券などのスゴカ機能やアメニュプラザでの割引などJQカードの特典を受けることができます。

気になる年会費も初年度は無料です。(注3) 2年目以降も一定の条件を満たせば、無料(注4)となります。

(注1) 提携コンビニATMについては下欄の「便利なATMサービス」をご覧ください。  
(注2) ステージ2で平日のみ無料、ステージ3でいつでも無料となります。  
(注3) ゴールドカードは除きます。

(注4) オールインワンのクレジット機能での携帯電話、もしくは電気料金の決済、またはクレジットの年間10万円以上のご利用で無料となります。



全国のコンビニでご利用いただけます  
「便利なATMサービス」

当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国のセブンイレブン・ローソン及び福岡県内の一部のファミリーマートに設置しているコンビニATMでご利用いただけます。

ご利用時間は、平日は24時間、土日祝日も21時までとなっております。お客さまのさまざまなライフスタイルに対応しています。

ATMをご利用の際は、時間帯に応じて所定の手数料が必要となりますが、NCBポイントサービス(注1)のお取引ポイントに応じて、ATMの時間外利用手数料が無料になります。

各ATMの設置場所・営業時間等につきましては、当行ホームページ「店舗・ATMナビ」をご参照下さい。

(注1) お客さまとの取引内容をポイントに換算し、その合計ポイントに応じて、さまざまな特典が受けられる年会費無料のサービスです。NCBポイントサービスのご利用にはお申込みが必要です。

### ご利用いただけるコンビニATM

	セブン銀行ATM (18,123台)
	ローソンATM (9,717台)
	ファミリーマートATM(75台)

※カッコ内は平成25年3月末現在の設置台数

## 安心に向けて取り組んでいます

### 金融犯罪への取り組み

当行は、社会問題となっている振り込め詐欺をはじめとする金融犯罪を防止するための取り組みを行っています。

平成25年4月より改正犯罪収益移転防止法が施行されたことに伴い、口座開設や多額の現金によるお取引を行う際には、ご本人であることの確認に加え、お取引の目的やご職業等（法人の場合は事業内容や実質的支配者等）の確認をお願いしています。

また、不正利用口座を検知した場合も取引停止などの措置によりお客様の財産保護に努めています。

なお昨今、銀行員や警察官を装い、言葉巧みに暗証番号を聞き出し、キャッシュカードを騙し取って出金する犯罪が発生しています。当行行員や警察官が電話や店舗外で暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありませんので、十分ご注意ください。

### 反社会的勢力への対応について

当行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けた取り組みを行っています。政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための

「金融犯罪被害に関する相談窓口」 ☎0120-797-919へ 【受付時間】月～金曜日9:00～17:00（祝日および銀行休業日は除きます）

指針」（平成19年6月19日犯罪対策閣僚会議幹事会申合せ）等を踏まえて、融資取引の約定書や普通預金規定等の各種規定を改定し、暴力団等の反社会的勢力を排除する条項（「暴力団排除条項」）を導入しています。

### 金融円滑化への取り組み

当行は、平成21年12月に施行された「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」（中小企業金融円滑化法）の趣旨を踏まえ、中小企業のお客さまの事業活動の円滑な遂行、ならびに住宅ローンご利用のお客さまの生活の安定を目的として、金融円滑化に取り組んでまいりました。

このたび、平成25年3月末をもつて中小企業金融円滑化法の期限到来を迎えましたが、法終了後も、当行の金融円滑化に向けた基本方針は何ら変わるものではありません。引き続き、お客さまの主体的な経営改善・事業再生等への取組をお客さまの立場に立つて真摯にサポートし、金融機関としての社会的責任を果たしてまいります。

### 金融円滑化相談窓口

最寄りの窓口でお気軽にご相談いただけるよう、すべての営業店のご融資窓口及びビジネスサポートセンター、ローン営業室においてご相談お申込みを承っております。

### 苦情等のご相談窓口

当行は、お客さまからのご意見や苦情には真摯な姿勢で公正・迅速に対応するとともに、お客さまのご理解と信頼を得られるよう努めております。

当行に対するご意見・苦情は、営業店または次のお問い合わせ窓口までお申し出ください。

### 金融ADR制度について

金融ADR制度とは、金融分野における裁判外紛争解決手続（※）のことで、お客さまが、金融機関との間で十分に話し合いをしても問題の解決がつかないような場合に活用いただける制度です。

国の指定を受けて中立性を確保した指定紛争解決機関が、お客さまや金融機関からの申出を受け、苦情やトラブルの解決を図ります。

当行は、「一般社団法人全国銀行協会」と「一般社団法人信託協会」との間で、紛争解決等業務に関する「手続実施基本契約」を締結しています。

（※）裁判外紛争解決手続（Alternative Dispute Resolution）とは、身の回りや起るトラブルを、裁判ではなく中立・公正な第三者に関わってもらいながら柔軟な解決を図る手続です。

西日本シティ銀行お客様サービス室

☎0120-162-105

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00  
（祝日および銀行休業日は除きます）

または

FAX092-461-1916（24時間）

西日本シティ銀行の本支店窓口

全国銀行協会 相談室  
TEL0570-017109

または  
TEL03-5252-3772

【受付時間】月～金曜日9:00～17:00  
（祝日および銀行休業日は除きます）

信託協会 信託相談所

☎0120-817335

または

TEL03-3241-7335

【受付時間】月～金曜日9:00～17:15  
（祝日および銀行休業日は除きます）

## 新しい店舗に「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」 「エコ設備」を積極的に取り入れています



当行の新しい店舗は、全てのお客さまにご利用いただきやすい「ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備」（自動ドア、段差のない出入口、点字ブロック、多目的トイレ、エレベーター、座ったまま利用できる記帳台など）や、地球環境に配慮した「エコ設備」（太陽光発電システム、LED照明、エコガラス、雨水再利用など）を積極的に取り入れています。

今後も地域の皆様に親しまれる店舗づくりに取り組んでまいります。

【新店舗の主な機能】

エコ設備				ユニバーサルデザイン・バリアフリー設備					
太陽光発電	LED照明	エコガラス	雨水再利用	自動ドア	段差のない出入口	点字ブロック	多目的トイレ	エレベーター	座ったまま利用できる記帳台

3

その他、窓口振込手数料の優遇や代筆・代読のご対応を実施しております。詳しくは、お気軽に取引店窓口にお問い合わせください。

2

### 点字文書の無料郵送サービス

取引店窓口へ直接又は電話でのお申込みにより、左記の取引明細等を点字で作成し、ご自宅宛に送付するサービスを実施しています。  
※対象取引：普通預金・貯蓄預金取引明細の通知（1カ月単位で送付）定期預金満期の通知（満期日到来の都度送付）

1

### 視覚障がい者対応 （受話器型操作機付）ATMの増設

全ての営業店に1台以上の設置が完了し、店外ATMコーナーと合わせ728台となりました（平成25年3月末現在）。今後も順次増設を行い、一層の利便性向上に努めてまいります。

### 視覚障がいをお持ちのお客さまに配慮した取組み

当行では、視覚障がいをお持ちのお客さまにも安心してお取引いただけるよう、以下のような取組みを行っております。



※視覚障がい者対応ATM  
原則各ATMコーナーの左端に設置しています



### 地域の環境美化に 取り組んでいます

当行では、全店一斉の清掃活動「地域のNCBクリーンデー」を毎年実施しており、平成24年10月18日、19日を中心に各店で実施しました。  
当日は、地元の皆様への日頃の感謝の思いをこめて、店舗周辺や地区の商店街、公園などを清掃いたしました。

## 地域のみなさまの“学び”をお手伝い



地域の歴史や文化を取り上げて、わかりやすく紹介します  
「九州流」「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」

地域の活性化に貢献したいとの思いを込め、2種類の広報誌を発行しています。「九州流」は、九州の歴史・文化・アジアとの交流をテーマに、国際レベルの視点から地域の情報を掘り起こして発信する“ふるさと発見誌”として、平成21年に創刊しました。「博多に強くなろう」「北九州に強くなろう」は、地元の身近な話題やゆかりの人物等を取り上げてわかりやすく紹介する刊行物として、昭和54年より発行しています。現在97号に至りました。



クイズで楽しく金融経済を学んでもらう  
「エコノミクス甲子園」福岡大会開催

自らで判断する「自己責任能力」が重要視される昨今、金融経済においても若者への「金融知力」の普及がますます必要とされています。

社会に出る直前の高校生に、金融経済の知識に触れ、楽しみながら金融知力を身につけてもらうことを目的とし、平成24年12月、第7回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」福岡大会を開催しました。大会本番では参加した多数の高校生達が熱戦を繰り広げました。



宮崎地区で特別講演会を実施

宮崎営業部発足記念の特別講演会を5月17日開催しました。当行久保田頭取による「どう変わる日本経済」また、国際エコノミスト水野隆徳氏による「国際化の波と地方経済」という演題で開催し、地域の皆さまに最新の経済、金融情報をお届けしました。



経済情報をお届けします  
新春講演会・緊急講演会

時々刻々と社会が変化する中、経済・金融についての情報をタイムリーにお届けする機会として、地域の皆さまをお招きし、平成25年1月に新春講演会「2013年経済・金融の見通し～世界、日本、そして九州～」を、平成25年4月には緊急講演会「どう変わる日本経済～日銀の新しい金融政策を踏まえて～」を開催し、最新の経済金融情報をお伝えしました。今後も皆さまのお役に立つ情報を提供する機会を設けていきます。

アジアとの絆を深め、  
実りある国際交流を  
支援しています

公益財団法人 西日本国際財団

アジア諸国を中心とした国際交流を推進することにより、国際相互理解の促進及び国際的人材の育成をはかり、国際親善の推進に寄与することを目的として、さまざまな事業活動を行っています。

また、九州・沖縄・山口地域を対象に、草の根活動を通じてアジアの発展及びアジアとの国際交流に貢献した団体・個人を表彰する「アジア貢献賞」、国際相互理解と国際友好親善の促進に貢献している小学校・中学校及び地域の子ども団体を表彰する「アジアKids大賞」を設け、実りある国際交流を支援しています。



皆さまに愛され続け  
お昼休みのミニコンサートは  
300回を超えました

公益財団法人 福岡文化財団

毎月1回、本店エントランスホールで開催する「プロムナードコンサート」。27年間皆さまに愛され続け、平成25年5月で329回を迎えました。

また、福岡市内の小学校で本物のクラシック音楽演奏や大道芸パフォーマンスを披露する「ふれあいライブ」は、子どもたちに大変喜ばれています。クラシックをもっと身近に、そして子どもたちにとって楽しい時間になるように、ひとつひとつのライブをていねいに企画しています。他にも、地元のまちづくりや文化についてシンポジウムを開催、美術、音楽、演劇、芸術支援等を通して、文化の向上を図り、より豊かな地域社会づくりに貢献する活動を行っています。



地域の優れた経営者を  
表彰しています

公益財団法人 経営者顕彰財団

九州・山口地域において、地域経済の発展や産業の開発に優れた実績をあげられた中堅・中小企業の経営者の方々を毎年表彰し、「経営者賞」を授与しています。昭和47年の財団設立以来、表彰は40回を数え、受賞者は150名となりました。受賞者が経営する企業のうち、上場または店頭公開を果たされた企業も多数あります。「経営者賞」が経営者の方々の励みとなり、地域経済の発展に少しでも寄与できれば幸いです。



東日本大震災  
緊急募金の取扱い

当行では、全店の窓口で「西日本シティ銀行ユニセフ東日本大震災緊急募金」の受付を平成23年3月から開始し、平成25年3月まで実施いたしました。募金総額は、74,583,219円となりました。

多くの皆さまからの善意をいただき、本当にありがとうございます。  
(寄付先…公益財団法人日本ユニセフ協会)



ユニセフの支援活動状況につきましては、日本ユニセフ協会のホームページに掲載されています。

■ホームページアドレス  
<http://www.unicef.or.jp/kinkyu/japan/2011.htm>

コタエがある。

ミニディスクロージャー誌

業績・財務データ

平成25年3月期

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)



ココロがある。コタエがある。  
西日本シティ銀行



## コタエがある。Contents

店舗網・海外ネットワークのご案内	1
平成25年3月期業績ハイライト	2
株式の状況	5
平成25年3月期財務諸表	6

## プロフィール

商号	株式会社西日本シティ銀行
設立	昭和19年12月1日
本店所在地	福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号
資本金	857億円
店舗数	206か店
従業員数	3,745名
総資産	7兆5,182億円
預金・譲渡性預金残高	6兆6,144億円
貸出金残高	5兆3,594億円
	(平成25年3月31日現在)

※計数につきましては、原則として単位未満を切り捨てて表示しております。

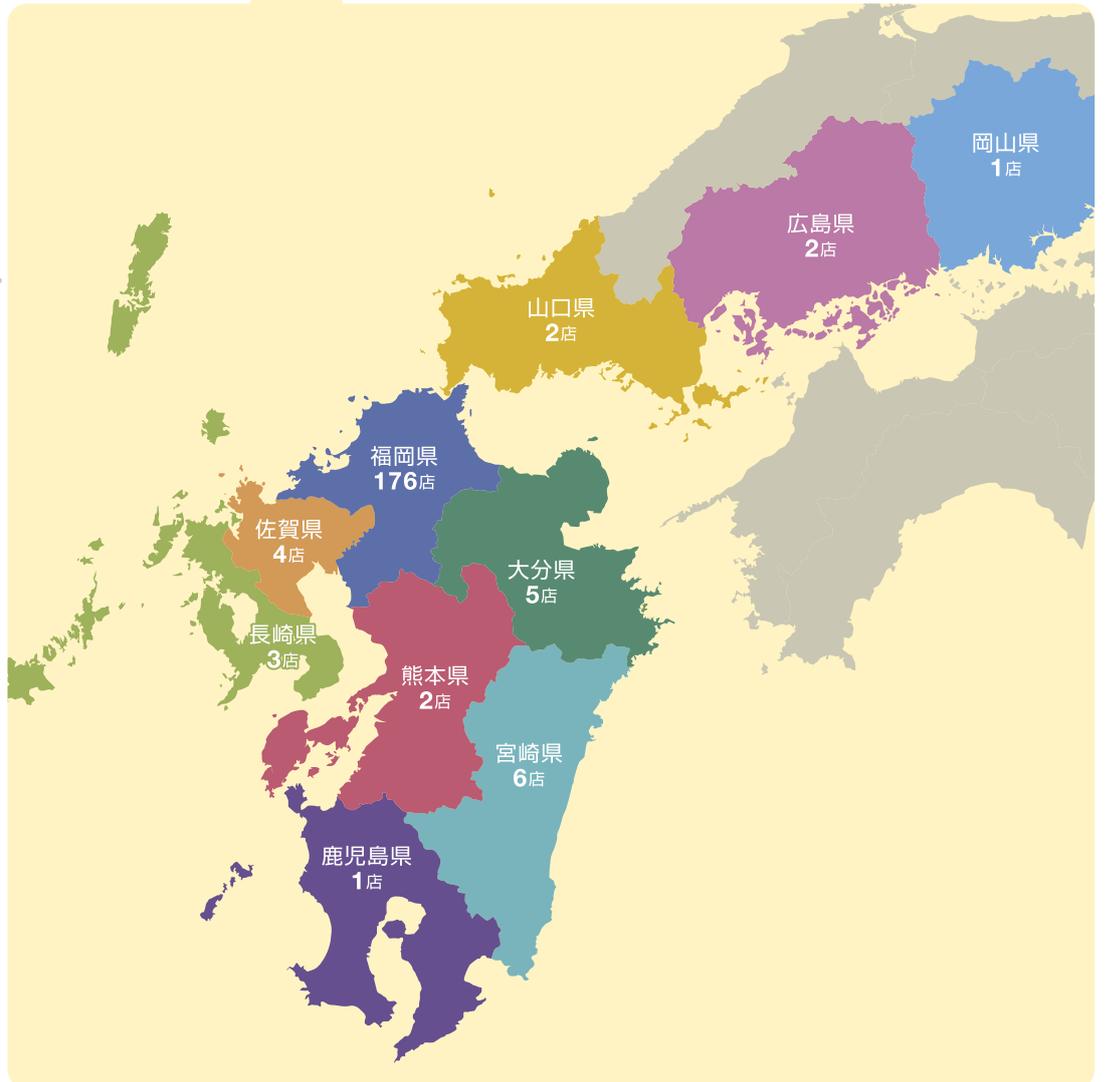
平成25年6月発行 株式会社 西日本シティ銀行 広報文化部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目1番1号 TEL 092-476-1111(代表) ホームページ ▼<http://www.ncbank.co.jp>



●店舗数	204か店
●海外駐在員事務所	3か所
ATM / 1,387台	
	店舗内929台
	店舗外458台
	※コンビニATM除く

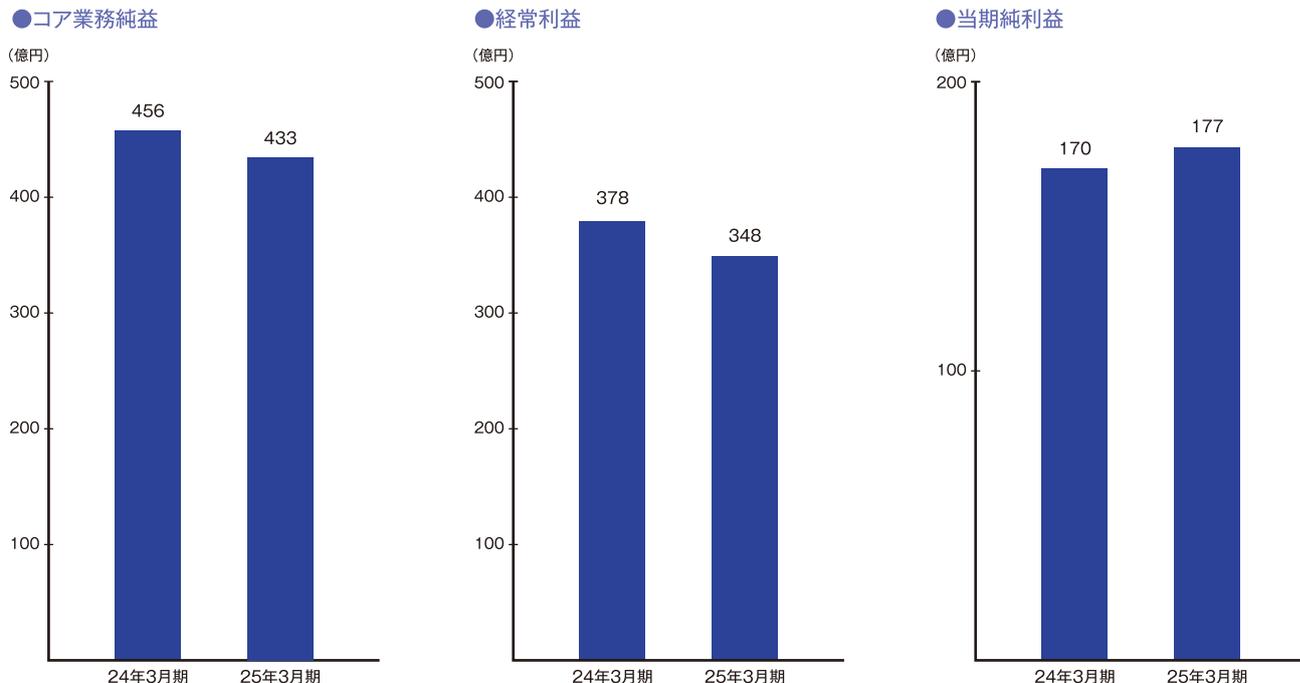
**提携金融機関**

- りそなブルダニア銀行 (インドネシア) 平成8年提携
- 中国銀行(中国) 平成13年提携
- 国際協力銀行(日本) 平成13年提携
- 新韓銀行(韓国) 平成19年提携
- OCB(ベトナム) 平成20年提携
- BNP パリバ(ベトナム) 平成20年提携
- バンコック銀行(タイ) 平成21年提携



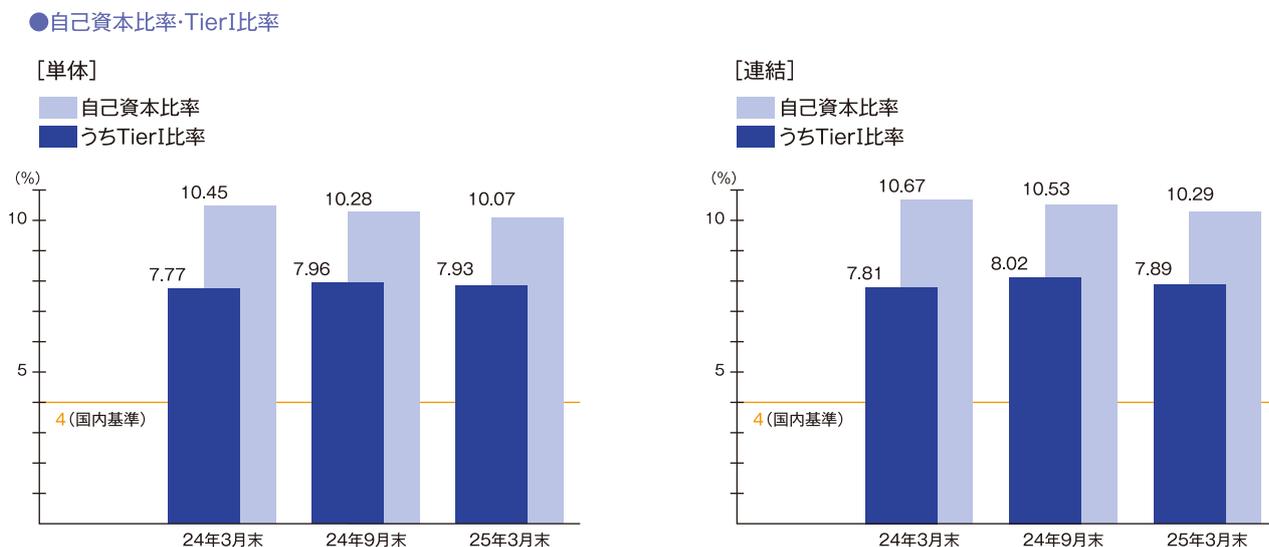
## 損益の状況(単体)

コア業務純益は、経費削減を進めたものの、金利低下に伴う資金運用収益の減少などにより、前期比23億円減少し、433億円となりました。また、経常利益は、前期比30億円減少し、348億円となりました。当期純利益は、法人税等の減少により、前期比7億円増加し、177億円となりました。



## 自己資本比率の状況

自己資本比率は、単体で10.07%、連結で10.29%となりました。また、中核的自己資本であるTierI比率は、単体で7.93%、連結で7.89%となりました。今後も資本の充実を図り、自己資本比率の向上に努めてまいります。



## 不良債権の状況(単体)

金融再生法に基づく開示債権の残高は、資産の自己査定基準に基づき、償却・引当を実施した結果、平成24年3月末比46億円減少し、1,628億円、開示債権比率は、3.01%となりました。

### ●不良債権比率

■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 危険債権 □ 要管理債権 ● 金融再生法開示債権比率(%)



### 用語説明

#### コア業務純益

預貸金業務などによる“資金利益”や投資信託等の販売手数料などの“役務取引等利益”などを含む“業務粗利益”から“経費”を差し引いたもので、銀行本来業務の収益力を表す指標として一般的に用いられています。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務粗利益 (除く国債等債券損益)} - \text{経費}$$

#### 自己資本比率

銀行の健全性を示す指標のひとつです。  
国内基準で4%以上を維持することが求められています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本 (資本金など)}}{\text{リスク度合を考慮した資産}}$$

#### TierI比率

自己資本のうち資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目をもとに算出される自己資本比率です。

### 用語説明 ~金融再生法による開示債権の定義~

#### 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

#### 危険債権

債務者が、経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態・経営成績が悪化し、契約通りの返済を受けることができなくなる可能性の高い債権

#### 要管理債権

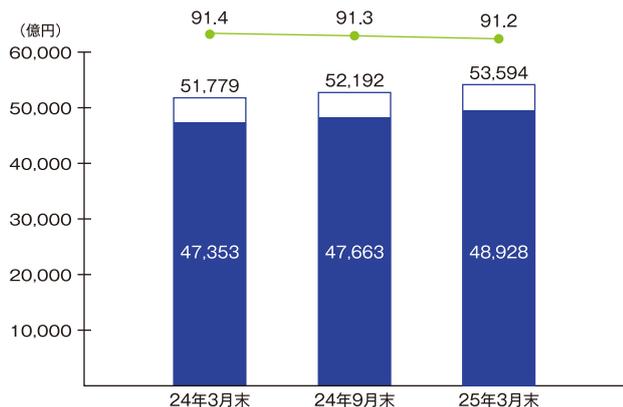
3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

## 貸出金の状況

平成25年3月末の総貸出金のうち、九州域内での貸出金の比率が91.2%、また、中小企業※及び個人への貸出金の比率が76.2%と九州の特に中小企業・個人のお客さまを中心としたさまざまな資金ニーズにお応えしております。

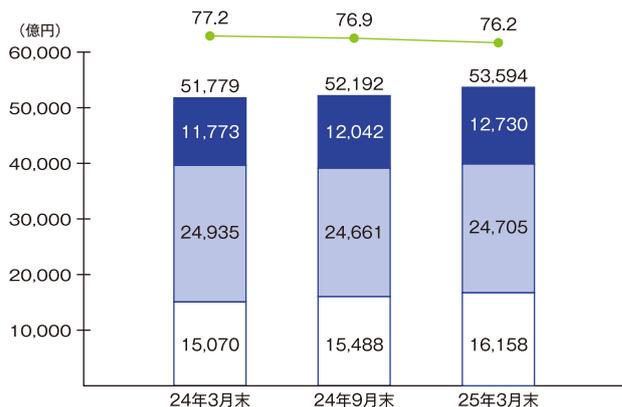
●貸出金と地域の内訳

□ 総貸出金残高 ■ 九州域内貸出金残高  
● 九州域内貸出金比率(%)



●貸出金と対象先の内訳

■ 大・中堅企業、地方公共団体向け貸出金残高 □ 中小企業※向け貸出金残高  
□ 個人向け貸出金残高 ● 中小企業※及び個人貸出金比率(%)



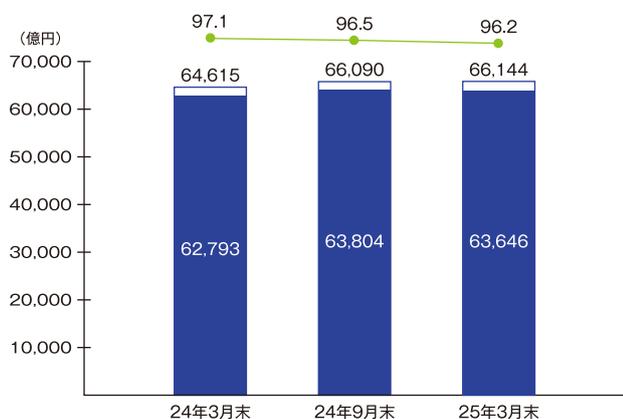
※中小企業…資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人事業主

## 預金・預り資産の状況

平成25年3月末の譲渡性預金を含む預金残高のうち、九州域内での預金の比率が96.2%、預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)のうち九州域内での預り資産の比率が98.0%となっており、九州地域の皆さまから多くのご資産をお預りするとともに、皆さまの多様なニーズにお応えするため、商品・サービスの充実を図っております。

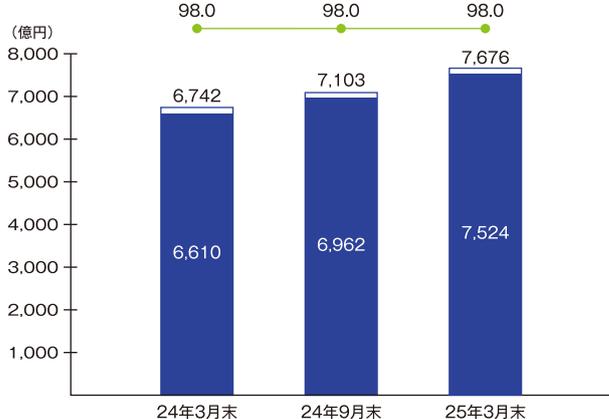
●預金(譲渡性預金を含む)と地域の内訳

□ 総預金残高 ■ 九州域内預金残高 ● 九州域内預金比率(%)



●預り資産(投資信託・個人年金保険・一時払終身保険)と地域の内訳

□ 預り資産残高※ ■ 九州域内預り資産残高※ ● 九州域内預り資産比率(%)



※預り資産残高=投資信託残高+保険商品販売累計額(個人年金保険販売累計額+一時払終身保険販売累計額)

## 株式の状況

発行可能株式総数 1,500,000,000株

平成25年3月31日の発行済株式の総数 796,732,552株

平成25年3月31日の株主数 21,019名

## 大株主

(平成25年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	100,644	12.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	45,245	5.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,458	3.82
日本生命保険相互会社	20,477	2.57
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	17,082	2.14
株式会社みずほコーポレート銀行	11,507	1.44
東京海上日動火災保険株式会社	11,280	1.41
西日本シティ銀行従業員持株会	11,066	1.38
株式会社りそな銀行	11,000	1.38
明治安田生命保険相互会社	10,945	1.37

(注)1.所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 株式のご案内

- 1. 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- 2. 定時株主総会** 6月に開催いたします。
- 3. 配当金の  
お支払いについて**

**期末配当金**  
3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

**中間配当金**  
取締役会の決議によって中間配当を行う場合は、9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対してお支払いいたします。

配当金のお受取りには、当行の預金口座への振込をご利用いただけますと、速くて便利です。
- 4. 基準日** 定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
- 5. 公告方法** 電子公告による公告とし、当行ホームページ(<http://www.ncbank.co.jp>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、西日本新聞と日本経済新聞に掲載いたします。
- 6. 株主名簿管理人  
特別口座の  
口座管理機関**

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

(1)事務取扱場所 福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店  
電話：福岡(092)741-0284

(2)お問合せ先 〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部  
☎ 0120-707-843(フリーダイヤル)

(ご注意)株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

### 連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

(単位:百万円) 連結株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日~平成25年3月31日)(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
現金預け金	248,461	預 金	6,600,100
コールローン及び買入手形	293	譲 渡 性 預 金	222,134
買入金銭債権	27,543	コールマネー及び売渡手形	233,352
特定取引資産	1,548	債券貸借取引受入担保金	46,104
金銭の信託	3,000	借 用 金	74,004
有価証券	1,717,636	外 国 為 替	133
貸 出 金	5,585,226	社 債	73,300
外 国 為 替	5,137	そ の 他 負 債	52,610
その他資産	45,804	退職給付引当金	6,726
有形固定資産	117,073	役員退職慰労引当金	151
無形固定資産	9,904	睡眠預金払戻損失引当金	2,421
繰延税金資産	19,459	偶発損失引当金	2,104
支払承諾見返	33,043	特別法上の引当金	0
貸倒引当金	△38,955	再評価に係る繰延税金負債	19,056
投資損失引当金	△613	支 払 承 諾	33,043
		<b>負債の部合計</b>	<b>7,365,244</b>
		<b>純資産の部</b>	
		資 本 金	85,745
		資 本 剰 余 金	90,301
		利 益 剰 余 金	143,541
		自 己 株 式	△673
		(株主資本合計)	(318,914)
		その他有価証券評価差額金	35,521
		繰延ヘッジ損益	0
		土地再評価差額金	29,916
		(その他の包括利益累計額合計)	(65,437)
		少 数 株 主 持 分	24,968
		<b>純資産の部合計</b>	<b>409,320</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>7,774,565</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>7,774,565</b>

連結損益計算書 (平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額
<b>経 常 収 益</b>	<b>156,212</b>
資金運用収益	114,504
(うち貸出金利息)	(96,095)
(うち有価証券利息配当金)	(17,446)
役務取引等収益	30,840
特定取引収益	338
その他業務収益	5,639
その他経常収益	4,890
<b>経 常 費 用</b>	<b>117,952</b>
資金調達費用	7,976
(うち預金利息)	(4,642)
役務取引等費用	9,544
その他業務費用	1,226
営業経費	81,826
その他経常費用	17,378
<b>経 常 利 益</b>	<b>38,260</b>
特 別 利 益	101
特 別 損 失	4,857
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>33,504</b>
法人税、住民税及び事業税	3,418
法人税等調整額	10,079
<b>法人税等合計</b>	<b>13,498</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>20,006</b>
少 数 株 主 利 益	1,569
<b>当 期 純 利 益</b>	<b>18,436</b>

科目	金額
<b>株主資本</b>	
資本金	
当期首残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
当期首残高	90,301
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	90,301
利益剰余金	
当期首残高	128,247
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,975
当期純利益	18,436
自己株式の処分	△3
土地再評価差額金の取崩	835
当期変動額合計	15,293
当期末残高	143,541
自己株式	
当期首残高	△668
当期変動額	—
自己株式の取得	△11
自己株式の処分	7
当期変動額合計	△4
当期末残高	△673
<b>株主資本合計</b>	
当期首残高	303,625
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,975
当期純利益	18,436
自己株式の取得	△11
自己株式の処分	3
土地再評価差額金の取崩	835
当期変動額合計	15,288
当期末残高	318,914
<b>その他の包括利益累計額</b>	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	11,032
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	24,489
当期変動額合計	24,489
当期末残高	35,521
<b>繰延ヘッジ損益</b>	
当期首残高	△0
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0
当期変動額合計	0
当期末残高	0
<b>土地再評価差額金</b>	
当期首残高	30,751
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△835
当期変動額合計	△835
当期末残高	29,916
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	
当期首残高	41,783
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	23,653
当期変動額合計	23,653
当期末残高	65,437
<b>少数株主持分</b>	
当期首残高	28,132
当期変動額	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,163
当期変動額合計	△3,163
当期末残高	24,968
<b>純資産合計</b>	
当期首残高	373,541
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,975
当期純利益	18,436
自己株式の取得	△11
自己株式の処分	3
土地再評価差額金の取崩	835
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	20,489
当期変動額合計	35,778
当期末残高	409,320

財務諸表

貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	240,356	預金	6,400,615
コールローン	293	譲渡性預金	213,848
特定取引資産	1,542	コールマネー	233,352
金銭の信託	3,000	債券貸借取引受入担保金	46,104
有価証券	1,726,900	借入金	85,405
貸出金	5,359,415	外国為替	133
外国為替	5,137	社債	73,300
その他資産	41,380	その他負債	29,668
有形固定資産	113,253	退職給付引当金	5,782
無形固定資産	10,287	睡眠預金払戻損失引当金	2,394
繰延税金資産	17,022	偶発損失引当金	2,053
支払承諾見返	30,037	再評価に係る繰延税金負債	18,634
貸倒引当金	△29,915	支払承諾	30,037
投資損失引当金	△497		
		<b>負債の部合計</b>	<b>7,141,329</b>
		純資産の部	
		資本金	85,745
		資本剰余金	85,684
		資本準備金	85,684
		利益剰余金	141,519
		利益準備金	61
		その他利益剰余金	141,458
		圧縮積立金	3
		別途積立金	122,800
		繰越利益剰余金	18,654
		自己株式	△673
		(株主資本合計)	(312,275)
		その他有価証券評価差額金	34,694
		繰延ヘッジ損益	0
		土地再評価差額金	29,916
		(評価・換算差額等合計)	(64,610)
		<b>純資産の部合計</b>	<b>376,885</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>7,518,215</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>7,518,215</b>

損益計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:百万円)

科目	金額
経常収益	142,648
資金運用収益	108,652
(うち貸出金利息)	(90,667)
(うち有価証券利息配当金)	(17,812)
役員取引等収益	24,286
特定取引収益	30
その他業務収益	5,133
その他経常収益	4,545
経常費用	107,842
資金調達費用	8,458
(うち預金利息)	(4,519)
役員取引等費用	11,625
その他業務費用	1,226
営業経費	71,873
その他経常費用	14,658
経常利益	34,805
特別利益	27
特別損失	4,741
税引前当期純利益	30,091
法人税、住民税及び事業税	2,328
法人税等調整額	9,970
法人税等合計	12,298
当期純利益	17,793

株主資本等変動計算書 (平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位:百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
当期首残高	85,745
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,745
資本剰余金	
資本準備金	
当期首残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
資本剰余金合計	
当期首残高	85,684
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	85,684
利益剰余金	
利益準備金	
当期首残高	61
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	61
その他利益剰余金	
圧縮積立金	
当期首残高	3
当期変動額	△0
圧縮積立金の取崩	△0
当期変動額合計	△0
当期末残高	3
別途積立金	
当期首残高	109,700
当期変動額	—
別途積立金の積立	13,100
当期変動額合計	13,100
当期末残高	122,800
繰越利益剰余金	
当期首残高	17,104
当期変動額	△3,975
剰余金の配当	0
圧縮積立金の取崩	△13,100
別途積立金の積立	17,793
当期純利益	△3
自己株式の処分	835
土地再評価差額金の取崩	1,549
当期変動額合計	18,654
当期末残高	126,869
利益剰余金合計	
当期首残高	126,869
当期変動額	△3,975
剰余金の配当	—
圧縮積立金の取崩	—
別途積立金の積立	17,793
当期純利益	△3
自己株式の処分	835
土地再評価差額金の取崩	14,649
当期変動額合計	141,519
当期末残高	141,519
自己株式	
当期首残高	△668
当期変動額	△11
自己株式の取得	7
自己株式の処分	△4
当期変動額合計	△673
当期末残高	△673
株主資本合計	
当期首残高	297,630
当期変動額	△3,975
剰余金の配当	17,793
当期純利益	△11
自己株式の取得	3
自己株式の処分	835
土地再評価差額金の取崩	14,644
当期変動額合計	312,275
当期末残高	312,275
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
当期首残高	10,517
当期変動額	24,176
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	24,176
当期変動額合計	34,694
当期末残高	34,694
繰延ヘッジ損益	
当期首残高	△0
当期変動額	0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	0
当期変動額合計	0
当期末残高	0
土地再評価差額金	
当期首残高	30,751
当期変動額	△835
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△835
当期変動額合計	29,916
当期末残高	29,916
評価・換算差額等合計	
当期首残高	41,269
当期変動額	23,340
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	23,340
当期変動額合計	64,610
当期末残高	64,610
純資産合計	
当期首残高	338,900
当期変動額	△3,975
剰余金の配当	17,793
当期純利益	△11
自己株式の取得	3
自己株式の処分	835
土地再評価差額金の取崩	23,340
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	37,985
当期変動額合計	37,985
当期末残高	376,885

次頁「コロがある」編はオレインジの表紙側よりご覧ください